



前回到続いて CLT（直交集成板）を使った建築物を紹介します。高知県大豊町の義務教育学校、CLT を用いた木造 2 階建て、町立の大豊学園です。義務教育学校とは 2016 年に制度化された 9 年制の学校で、初年度全国で 22 校開校、2020 年には 126 校に増えているそうです。今までの小中一貫校とは違い、一人の校長、一つの教職員組織、教員は小中の免許状併有が原則とのことです。大豊学園は、英語教育を充実させ、町外からの入学も視野に 2022 年 4 月に開校、学年の区切りは「5・4 制」ですが、「中 1 ギャップ」解消を狙って 5 年生から中学教員の乗入れ授業も計画されるそうです。

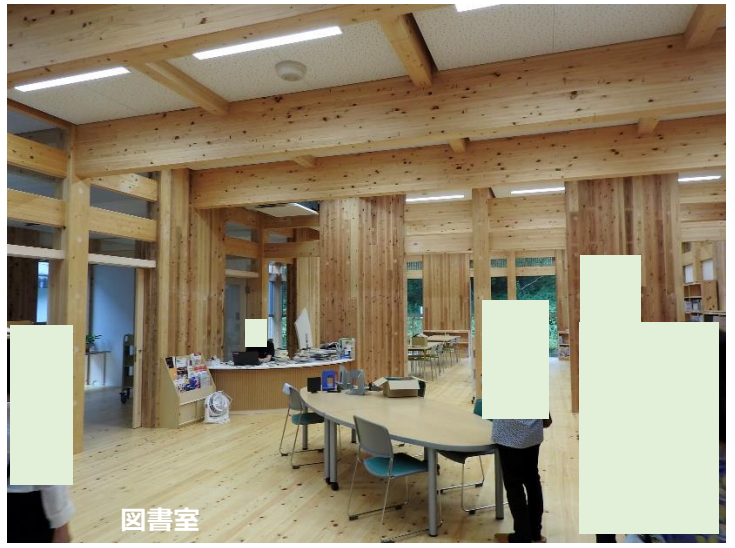
3 層 4 プライの 120mm 厚 CLT を 2 枚合わせとし、240mm 角集成材合わせ柱とを交互に配して、集成材貫 3 段で固めた独特の構造要素になっています。CLT と柱は、2 階建て部分も屋根の下まで連続した材が用いられています。設計者は前回の道草ギャラリーで紹介しました無料 WEB 講座の事例 3 と同じ方で、(有)艸建築工房所長横畠康氏です。他にも CLT を活用した建築物として、宿毛商銀信用組合本店、北川村あったかふれあいセンター「ゆずの花」、香南市総合子育て支援センター「にこなん」(3 物件とも前回紹介の WEB 講座:事例 3 の中で画像が見られます) 等々を設計されています。



左の体育館と奥の木造が大豊学園。右端手前平屋は、同時竣工の大豊町立大杉保育所。穴内川対岸の西高台より



教室



図書室



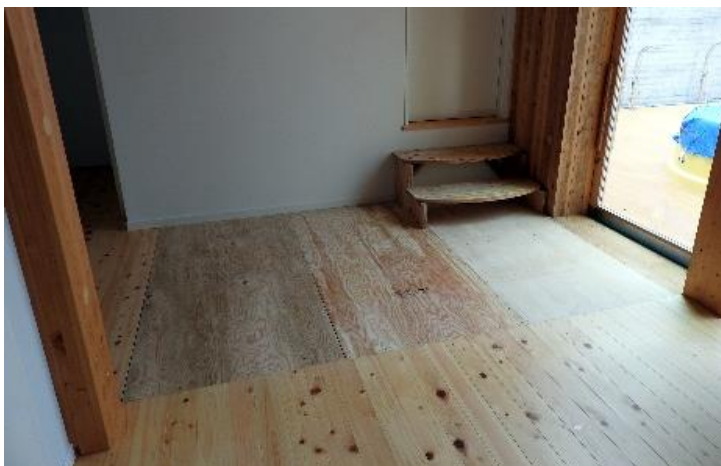
柱と3段貫



2枚合せCLTと貫



東側道路より



階段室を見ると、この建物の構造の特徴がよくわかります。また、階段周りにももしろい空間ができています。この「木」の空間で、生徒達がいろいろな遊びや使い方を「発明」するのではないかと思います。

廊下の端部に、合板張りの一面がありました。東京五輪2020へ提供された各都道府県産材が、大会終了後に解体されて「オリンピックレガシー」として刻印を付けて各自治体に戻されるそうで、その木材をここへ再利用する予定とのことです。

大豊学園の南端には、かなり大きな大豊町立大杉保育所が同時に竣工していて、川の対岸で 300m程離れたところから移転してくるそうです。CLT は使っていませんが木造で、大きな勾配天井には、反響音等への配慮もあり土佐和紙がルーバー状に下がっています。トップサイドライトからの採光も和らげ、大きな天井面を見た目にもソフトな印象とする効果が感じられます。南東角の給食施設棟は大豊学園と共用です。



大杉保育所 右端の別棟は共用の給食施設

天井にルーバー状の土佐和紙

大豊町は、四国の中央付近にあり、R32号線や高知自動車道が南北に走っています。面積約315km<sup>2</sup>、人口約3200名、人口密度は10人/km<sup>2</sup>程とのこと。大豊学園の横の穴内川は、高知県ですが南の土佐湾ではなく北に向かって流れ、町内で吉野川に合流し、徳島で紀伊水道に流れ出しています。JR土讃線の大杉駅が近くにあり、大豊学園の北西300m程の八坂神社境内に、国指定の特別天然記念物「杉の大スギ」があります。推定樹齢3,000年といわれ、根元で2株が合着しています。南株は根周り20m・樹高60m、北株は根周り16.5m・樹高57mで、日本一の大杉とのこと。周辺の境内の条件と雨もあって、残念ながら巨樹の迫力を伝えられるような全景写真は撮ることができませんでした。



< グーグル地図参照 >

(写真撮影：2021.8.24)

大豊学園

<https://www.google.co.jp/maps/@33.7535599,133.6644237,17.31z>

杉の大杉

<https://www.google.co.jp/maps/@33.7550117,133.6624445,19.2z>

宿毛商銀信用組合本店

<https://www.google.co.jp/maps/@32.9308872,132.7101385,19.42z>

「ゆずの花」

<https://www.google.co.jp/maps/@33.4470393,134.036444,18.06z>

「ゆずの花」のすぐ近くには、「モネの庭」マルモッタンもあります。

「にこなん」

<https://www.google.co.jp/maps/@33.561493,133.6983136,19.71z>

前回の「ザロイヤルパークキャンパス札幌大通公園」は「キャンパス」のミスタイプでした。

上のURLは、ここではクリックできませんが、下の「PDFはこちら」に入れば可能です。

(2022.01.01)